第122回　医　療　技　術　者　研　修　会

『Ａｉ（ｵｰﾄﾌﾟｼｰ・ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ）の現状と課題』

主催　財団法人東京保健会　病体生理研究所

ここ数年、Ａｉを取り巻く状況は刻々と変化しており、すでに多くの医療施設で否応もなくＡｉを実施せざるを得ない事態が起こっています。

これは解剖との対比を目的とした研究の段階を一気に通り越し、医療の現場で必要に迫られ（救急医が死体検案書の作製にＡｉが必要だと判断する場合や、遺族からのＡｉ実施依頼がある場合）Ａｉが実施される事態が各地で起きているためです。

これは、社会的な制度としてのＡｉが必要とされ、実施されつつあることを意味します。

さらに警察が関与する病院外の死亡例についても病院でＡｉの実施を依頼される事例が各地で発生しています。このような事例では、異状死の症例も含まれ、場合によっては、他殺などの事件性のある症例の読影を依頼されることも考えられます。

基本的には、これらの異状死に対して、各病院で対処することはリスクもあり、第三者機関に任せることが、放射線医学会などでも推奨されています。

今後は、単に院内のＡｉを実施するだけではなく、病院外からの依頼にも対応できるシステムの構築が必要です。

日　時	2012年1月21日（土）　午後2時30分～午後4時40分
会　場	プラザ・フォレスト（全林野会館）5F「504号」会議室
講　師	山本　正二（やまもと　せいじ）先生
対　象	放射線技師・ほか各医療職（事務系を含みます）
定　員	60名（申込は先着順・定員で締め切ります。あらかじめ御了解ください）
参加費	無　料

申し込み方法

1、下記の申込書にもれなく御記入のうえ、ＦＡＸまたは郵送でお申し込み下さい。
（記入もれなど不備がある場合には、受講票が送付できなくなります。必ず全て御記入ください）

2、申込者あて開催日前までに受講票をＦＡＸで送付します。当日必ずお持ち下さい。

3、締め切り後の申込者へは速やかに「締切済」通知をＦＡＸで送付します。悪しからず御了解ください。

※　※　※　下記の各項すべてにご記入のうえお申し込みください　※　※　※

2012年1月21日（土）『Ａｉ（ｵｰﾄﾌﾟｼｰ・ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞ）の現状と課題』研修会受講申込書

勤務施設名	職　種	申込者氏名（フリガナも）
施設住所 〒（　　-　　） TEL　（　）　FAX　（　）		

申し込み先　〒173－0025　東京都板橋区熊野町47－11

（財）東京保健会　病体生理研究所　医療技術者研修企画係

問い合わせ用ＴＥＬ　03(3956)4120　申し込み用ＦＡＸ　03(3956)4102

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

講　師

やまもと　　せいじ

山本　正二　先生

一般財団法人Ａｉ情報センター代表理事

略　歴 現　職等	1992年　千葉大学医学部卒業　〃放射線科入局 1998年　〃　〃　助手 2005年　〃　〃　講師 2009年　〃　〃　Aiセンター副センター長 2010年3月　千葉大学退職 2010年4月　Ａｉ情報センター代表理事 放射線医学総合研究所重粒子医科学ｾﾝﾀｰ.Ａｉ情報研究推進室（非常勤）
著書論文等	『オートプシー・イメージング読影ガイド』（文光堂，共編著，2009年） 『死因不明社会２　なぜAiが必要なのか』（講談社，共著，2011年）
所属学会等	日本医学放射線学会 会員　頭頚部腫瘍学会 会員 Autopsy Imaging学会 理事長

会場案内図　プラザ・フォレスト（全林野会館）5F「504号」会議室

（〒112－0012　東京都文京区大塚3丁目28番7号）

〔電話〕　03（3945）6871（代表）

交通機関

地下鉄丸の内線「茗荷谷駅」から徒歩7分　　地下鉄三田線「千石駅」（A4出口）から徒歩12分
地下鉄有楽町線「護国寺駅」（3番出口）から徒歩12分
JR山手線「大塚駅」（南口）から徒歩20分

プラザ・フォレスト会館のご案内図

拡大図

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。